

平成 30 年度

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー

**【自己点検・評価および学校関係者評価報告書】**

平成 31 年 3 月

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー

自己点検・評価委員会／学校関係者評価委員会

## 1 本校の概況

1. 設置者 学校法人 爽青会 理事長 中野勘次郎
2. 学校名 専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー
3. 校長名 中野勘次郎
4. 認可 平成 21 年 3 月 25 日
5. 開校 平成 21 年 4 月 1 日
6. 所在地 〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町 134-38 (TEL) 053-455-2550
7. 課程 文化・教養専門課程

### 8. 学校の沿革

- 平成 7 年 3 月 専修学校制度に基づき、専修学校の認可を受ける
- 平成 7 年 4 月 専門学校ルネサンス・アカデミー オブ デザイン開設
- 平成 17 年 4 月 専門学校ルネサンス アカデミーに校名変更  
総合デザイン学部・動物関係学部を開設
- 平成 20 年 3 月 学校法人爽青会 認可
- 平成 21 年 4 月 専門学校ルネサンス・ペット・カデミー独立開校
- 平成 26 年 3 月 設置 4 学科で職業実践専門課程認定
- 平成 27 年 4 月 動物看護・理学療法科 3 年制課程開始
- 平成 28 年 2 月 ISO29990 取得
- 平成 28 年 4 月 ペットエステ・トリミング科 3 年制課程開始

### 9. 校訓

Every dog has his day. (みんな輝く学校になる)

### 10. 教育目標

日本人ならではの徳性を活かし、人への配慮を最優先し、日本流・環境保全を世界に問う

#### 重点項目

- ・チーム力は無限大の浸透・・・各科信頼感の再醸成、優位性の再確認とアピール
- ・年齢相応の力量発揮・・・チーム力の課題克服、個別事情への雇用対策
- ・「語る」「気づく」「繰り返す」・・・教職員自身の気づきと語り方の変容
- ・核となる「3 年制」の理想の進化・・・リカレント、就職先産業界の未来像、No.1 企業との接触
- ・入学者増員対策・・・学科選択の基準明確化、優位性アピール、スター在校生プロジェクト
- ・新年度計画の修正・・・管理職の役割徹底、校務分掌のスリム化と役割修正、教頭教育
- ・VN3 年制の社会的使命の刷新・・・他の学科の選択基準 AH 業界成長図
- ・PG 科の新体制構築・・・若手成長と人事異動で刷新
- ・新教員の採用と育成・・・PG 科新人教員の育成、DW 科教員の採用
- ・新施設、新設備の投入・・・新職員室、Web アンケートシステム、キャンパスライフナビ展開
- ・各種外部評価への対応・・・ISO および職業実践専門課程設置学科

11. 設置学科

動物看護師科（昼3年 男女 定員40名）

ペットエステ・トリミング科3年制（昼3年 男女 定員15名）

ペットエステ・トリミング科2年制（昼2年 男女 定員25名）

ドッグ・ウェルネス科（昼2年 男女 定員40名）

動物海洋飼育・アクアリウム科（昼2年 男女 定員40名）

マスター科（昼1年 男女 定員5名）

12. 学生数（平成31年2月1日現在） 239名

13. 教職員数（平成31年2月1日現在） 20名

14. 学校建物面積 2357 m<sup>2</sup>

## 2 自己点検・自己評価委員会

### 1) 委員名簿

1. 学校長 中野勘次郎（委員長）
2. 本部長 中野祐子
3. 教頭 藤原研一
4. 教務部 村瀬晋司
5. 教務部 早房陽
6. 教務部 堀内貴充
7. 事務局 鈴木博昭

### 監査委員

1. 顧問 田中克己
2. 理事長代理 中野良太
3. 専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー課長 前田健一

### 2) 自己点検・自己評価制作の流れおよび委員会開催記録

- 平成 30 年 11 月 5 日 自己点検・評価委員会 説明会  
平成 30 年 11 月 12 日 自己点検・評価委員会 第 1 回会議  
平成 30 年 11 月 30 日 自己点検・評価委員会 第 2 回会議  
平成 31 年 1 月 26 日 自己点検・評価委員会 内部監査  
平成 31 年 1 月 31 日 設置者への報告  
平成 31 年 2 月 15 日 学校関係者評価委員会  
平成 31 年 3 月 2 日 学校法人爽青会理事会報告  
平成 31 年 3 月 8 日 第 1 回講師会にて共有  
平成 31 年 3 月 29 日 ホームページにて外部への公開

## 3 学校関係者評価委員会

### 1) 委員名簿

1. 安倍 徹 アン・ランゲージ・スクール校長／元静岡県教育長
2. 安武 伸朗 UX (User Experience) Shizuoka 代表  
常葉大学教授・キャリアサポートセンター長
3. 原 大二郎 公益社団法人日本動物病院協会 監事／家庭動物診療施設獣徳会 会長
4. 坂元 祥彦 一般財団法人動物看護師統一認定機構 業務執行理事

### 2) 開催日・場所

- 平成 31 年 2 月 15 日 学校法人爽青会 本部館 202 教室にて開催

## 4 評価一覧

評価項目《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検 自己評価	学校関係者 評価
1 ・ 目 標 教 育 理 念	1 理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	4
	2 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4	4
	3 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4
	4 学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	4
	5 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	4
2 学 校 運 営	1 専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	4
	2 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	4
	3 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4
	4 目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	4
	5 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	4
	6 人事、給与に関する制度は整備されているか	4	4
	7 教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4	4
	8 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
	9 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	4
	10 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4
	11 教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4	4
	12 学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	3	3.25
	13 利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	4
3 教 育 活 動	1 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
	2 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	3
	3 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
	4 動物系関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4
	5 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
	6 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
	7 Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	4	4
	8 動物関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	4
	9 シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4	4
	10 実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	4	4
	11 学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	4
	12 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	4
	13 職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
	14 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3.75
	15 閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	4
	16 教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4	4
	17 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
	18 教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	3	3
	19 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	4
	20 職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	3	3.25
	21 動物関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	4

評価項目《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検 自己評価	学校関係者 評価	
4 学 修 成 果	1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	4
	2	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	4
	3	評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	4	3.75
	4	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4	4
	5	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	4
	6	ニーズ調査結果に基づき目的（到達目標）を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4	4
	7	学習サービス（教育・訓練）を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4	4
	8	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	4
5 学 生 支 援	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
	2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
	3	保護者と適切に連携しているか	4	4
	4	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	3.5
	5	卒業生への支援体制はあるか	4	4
	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	4
	7	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	4
	8	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
	9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
	10	学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
	11	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4
6 教 育 環 境	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
	2	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	4	4
	3	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4	4
	4	防災に対する体制は整備されているか	3	3.25
	5	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
7 学 生 の 受 入 れ 募 集	1	学生募集活動は、適正に行われているか（例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか）	4	4
	2	履歴書（学歴、所有資格など）を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4	4
	3	学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	4
	4	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	4
	5	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4
	6	評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4	4
	7	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4	4
	8	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4	4
	9	学納金は妥当なものとなっているか	4	4
	10	志願者状況、定員充足率はどうか	3	3
8 質 保 証 教 育 の 内 容 部	1	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
	2	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
	3	文書管理規程、文書管理リスト（ファイル管理簿）ならびに決裁の流れを含む決裁規程（文書処理規程）が文書化されているか	2	2.25
	4	自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	3	3
	5	監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	4
	6	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4	4
	7	内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	3	3
	8	自己点検・評価結果を公開しているか	4	4

評価項目《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》			自己点検 自己評価	学校関係者 評価
9 財務	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
	2	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	3.25
	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
10 地域 貢献 ・ 社会	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
	3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	4
11 交 流 国 際	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	—	—
	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	—	—
	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	—	—
	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	4

## 5 評価の理由とコメント

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
1 教育 理念 ・ 目標	1	理念・目的・育人人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	理念・目的・育人人材像は学則と原点確認資料に明示されている。周知に関しては教員には原点確認資料にて、学生には学生必携にて4月に周知している。	4	教育目標は充分表示されていると考えますが、育人人材像に関して、抽象度が高く、学生・保護者・社会の理解のしやすさの観点で工夫が望まれる(安武) 今後の動向を先取り、予測しての将来構想立案に期待したい(安部)
	2	学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4	年2回の教育課程編成委員会での意見、企業訪問で聴取したニーズをもとに、教育計画を毎年構築している。実績と計画については学校関係者評価委員会の評価を受けて、改善・修正をしている。	4	人物評価に加えて業界全体の課題や潜在的なニーズ(期待)などを調査できるとさらに望ましい。インターンシップ報告の努力に大変感心した(安武) 今後の動向を先取り、予測しての将来構想立案に期待したい(安部)
	3	各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	教育目標や育人人材像は企業訪問や外部委員会、各種セミナー等で得た意見や知見をもとに定め、教育運営計画書にて各学科の使命感と学ぶ内容・育成する人材像を明文化している。	4	
	4	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	設置する4学科について、講師、設備、カリキュラム、取得資格、就職先などを学校案内や公式Webサイトに明示している。	4	産学一体で職業教育が理想的に形成されている(原)
	5	理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	在籍する学生には学生必携で、入学前の高校生等には学校案内なオープンキャンパスにおいて、保護者には入学前入学後の保護者会で周知している。	4	ステークホルダーにとって理解しやすい工夫はさらに必要ではないか。ペット校は資格対応型にて、育人人材像が明快かと考えると、懸念は少ない(安武) 保護者学生ともに周知されている(原)

### ① 課題

業界のニーズは得ているが、中長期的な具体的な学校の将来像(中長期計画)が未完成であり、将来像を示せているとは言えない。

### ② 今後の改善方策

中長期学校経営計画を策定し、内外に示せるよう準備を進める。

### ③ 特記事項

社会人の学び直しニーズを受け、社会人コース(短期・長期・学び直し)の設置を準備している。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
1	1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	社会のニーズを受けカリキュラム等教育課程を適宜修正し、その都度学則の変更をし専修学校設置基準に沿った学校運営をしている。	4	
	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	寄付行為や就業規則により意思決定システムは明文化されており、業務分掌で実行者は定められている。意思決定は理事会・評議員会で決議され、関係部署に共有されている。	4	
	3	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	財務に関する意思決定システムは経理規定にて定めている。学校運営に関する意思決定システムは就業規則に規定され、教務部会でなされている。	4	



2 学 校 運 営	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	事業計画の策定および決議は理事会・評議員会において発議され、策定されている。	4	事業計画エビデンス、各学科カリキュラム構成改定案、学生への配布を（坂元）
	5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	3月に教務運営、事務局運営に対する運営計画書をそれぞれ策定し、講師会等で周知の上で新年度の教育運営を進めている。	4	年次ごとの「〇〇ステージ」が定められていることが分かりやすいと思われるが、「育成人材像」と関連付けられると尚、明快になると思われる（安武）
	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	4	人事制度・給与規定は就業規則等で規定し、入社後の研修等で教職員に周知している。	4	健康管理面も含めた人事管理を（安部）さらに、「成績書～評価マトリクス」との一貫性が生まれれば、業務が単純化できるような感覚がある（安武）健康管理面も含めた人事管理を（安部）人事労務改善中、フレックス（坂元）
	7	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4	年2回、3月と8月の講師会において教職員と非常勤講師の情報共有を図っている。またPG科では、定例の週会議を開催し、問題点等を常に共有、検討している。	4	定期開催ができています（原）
	8	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	動物愛護に基づく動物の接し方については、学生必携内に細則を設け、学生に周知している。また清掃マイスター制度という独自の清掃検定を設け、ごみの分別等を指導している。	4	
	9	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	職業実践専門課程規定に基づき、学校情報をWeサイトにて公開している。	4	
	10	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	グループウェアの活用、サーバによる情報共有に加え、各種アンケートをWebで行うKINTONEを試験的に導入した。	4	
	11	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4	月一回の経営会議では、学生募集や教育運営、施設設備等運営そのものを見直し、必要な改善は年度の途中でも実施している。	4	
	12	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順（予防処置及び是正処置）を確立しているか	3	クレームノートを新設し、外部からのクレーム対処を一元管理する体制とした。外部からの苦情等への対応手順は確立されておらず、徹底に至っていない。	3.25	ハラスメント対応のフローチャート等を、マニュアルよりも簡便に作成してはどうでしょうか（安武）学生・保護者一人一人の訴えにより細かく対応を。手順はフレーム的なものでいいのでは（安部）今後の社会情勢に合わせた対策を（原）
	13	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	学生及び保護者は不満等がある場合は担任を窓口とし、担任が窓口にならない場合はそのほかの教員または学生相談室を活用できる。就職企業等からは就職課が窓口となりうる旨を求人用学校案内等に示している。	4	

① 課題

学外の利害関係者からの苦情や要請に対し、就職企業や高校は企画課、業界団体は教務部が対応しているが、対応の手順の確立には至っていない。

② 今後の改善方策

学外の利害関係者の不適合の発見が迅速になされるよう、各部にて担当者を設置する。

③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
3 教育活動	1	職員の能力開発のための研修等が行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	4	シラバス内に各科目ごと記載し、学生・教職員に周知している。また、授業アンケート等をもとにシラバスは毎年反省と見直しを行っている。	4	
	2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	教育課程編成委員会での意見を取り入れたカリキュラムの策定は行っているが、工夫・開発は十分とは言えない。	3	学内教育手法⇔学外での評価を受けることで、教員の教育内容の進度が増すと思う（安武）
	3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定され、公表されている。	4	
	4	動物系関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	インターンシップ訪問時の聞き取りや教育課程編成委員会を通して情報を集約し、毎年カリキュラムの見直し、作成が行われている。	4	
	5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	資格取得の指導体制、カリキュラム内での体系的な位置づけがなされている。	4	
	6	学科等カリキュラムは体系的に編成されているか	4	学科等カリキュラムは体系的に編成され、適切に運営されている。	4	
	7	Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	4	シラバスに到達目標が記載されており、学生に配布し周知されている。	4	
	8	動物関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	年間の予定の中で、事前に計画された実習や講義が行われている。企業で行うインターンシップは、第三者評価で確認された評価項目に沿って学生の教育と評価が進められている。	4	
	9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4	シラバスは授業開始前に配布し、説明等を行っている。学生用サーバー内で、学生自ら確認する事も可能。	4	口頭またはメール（サイト）でも十分か（安武） 細部にわたり改善策を認知していることが優れている（原）
	10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て（スケジュール管理）が明確になっているか	4	時間割に使用教室と担当者を明記している。また、特別教室やPCについてはデスクネッツにて管理、モニターについては早見表を都度作成し、いづどこで誰が使用するのかを明確にしている。	4	
	11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	各期ごとに授業アンケートを実施し、授業内容、指導方法、使用教材、成果達成度などを評価・検証し、講師会にて共有している。	4	
	12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	学則にて規定された基準は学生必携にて明記され、学生に配布し周知されている。	4	大変わかりやすい（安武）
	13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	学校関係者評価を実施した後、外部評価として分野別評価を実施し、ISO29990の認定を受けている。	4	
	14	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	授業アンケートによる評価に加え、互いの授業を見学し、意見交換を実施している。	3.75	実際は、持ち時間数の関係～見学後のフィードバック～自己評価～相互評価の仕組みは大変難しいと思う。シラバスチェックの方が簡便で一定の効果が上がるか（安武） 授業見学会後の授業研究会の開催を（坂元）

15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	個人情報を含むデータにはパスワードを設定している。また、個人情報の取り扱いは就業規則・講師会資料にて周知している。	4	
16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況（学習環境等）を確認・検証しているか	4	備品は状況に応じて増加している（モニター、PC）。学生用PCは、使用授業を把握し重ならないようにカリキュラムを設定している。	4	
17	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	人員は確保出来ている。	4	
18	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	3	職務記述書を定期的に更新をしている。また、年2回の成果・行動評価として教職員評価を実施しているが、職務記述書との関連付けは強くない。	3	
19	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	研修会や学会に参加し、報告書として残している。	4	FD,SDの視点は大変重要かと思うが、トップダウンのテーマ設定と、ボトムアップ（自己研鑽）の双方が重要か（安武）
20	職員の能力開発のための研修等が行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	3	能力開発のための研修は行われているが、効果を評価し文書で記録はしていない。	3.25	研修効果の評価は難しいと思うが、具体的な企画計画（簡単なもの）にまとめる方がわかりやすいか（安武）
21	動物関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	業界の注目すべき人物と接点を作っており、必要に応じて人材紹介の依頼は可能。	4	

① 課題

各研修は報告書または議事録として記録をしているが、その効果を検証・評価する体制が整っていない。

② 今後の改善方策

研修をどのように活かすのかの評価軸を定め、研修後の取り組みについて検証・評価出来る体制を作る。

③ 特記事項

同一学科教員による評価体制が不十分であったため、意見交換授業を実施し、教員が教員の授業を見学し、評価することに取り組んだ。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
4 学 修 成 果	1	4	評価規定は学生必携に定め、ABC評価とマトリクス評価を融合させた評価システムを導入している。また卒業進級判定会議にて判定を実施するとともに、評価基準についても確認している。	4	半次ごとの「○○ステージ」が定められていることが分かりやすいと思われるが、「育成人材像」と関連付けられると尚、明快になると思われる（安武） 成績評価の表記を検討願います。マトリクス評価は企業にも発表されては？（坂元）
	2	4	在校生のボランティア活動集約・斡旋をするとともに、活動内容を授業ブログにて公開している。卒業生の現状調査を進めているが、すべての卒業生の現状把握までは至っていない。	4	
	3	4	定期試験、卒業ライセンス試験など評価が必要となる項目ごと評価目標及び範囲を設定し、記述している。	3.75	シラバス・Can-Doの教育目標＝評価項目（内容）との関連性が必要かと思う（安武） 評価範囲は学習成果だけでなく、学校運営に関するすべての評価を指す（坂元）
	4	4	評価方法及び手順、スケジュール及び根拠は就業規則に明記され、周知されている。カリキュラムについては教育課程編成委員会において評価を受けている。	4	

5	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	各種証明書は社会的通用性を持った様式で作成している。	4	
6	ニーズ調査結果に基づき目的（到達目標）を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4	年度初めに定めた重点項目を年度末に精査し、報告書としてまとめた上で、次年度事業計画を進めている。	4	ニーズ？とは主体者は誰なのか？がわかりにくくて回答が合っているかどうか不安（安武）
7	学習サービス（教育・訓練）を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4	第三者評価にて評価されたインターンシップ評価票を実習先に事前に提示した上で実習に臨み、終了後は評価を受けている。	4	
8	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	インターンシップ訪問にて収集した情報を、在学中に学ぶべき内容として精査している。	4	卒業後のキャリア＝メンター＝卒業生という関連性は大変分かりやすい（安武）

① 課題

卒業生の現状を把握すべく、在籍調査に取り組んでいるが、すべての卒業生の現状把握までは至っていない。

② 今後の改善方策

卒業生全体への状況確認方法の検討、卒業生が学校を頼りやすくする体制を構築する。

③ 特記事項

特になし。

	評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
学生 支援	1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	担任と就職課が連携して就職支援を行っている。	4	
	2 学生相談に関する体制は整備されているか	4	クラス担任制、就職課・キャリアカウンセラー資格所有者が在籍しているほか、外部カウンセラーによる相談窓口も設置している。	4	
	3 保護者と適切に連携しているか	4	オープンキャンパスでの保護者説明会、入学式後の入学説明会、授業参観保護者会、就職保護者会、三者面談等、保護者との情報共有の場を設け、連携を強化している。	4	
	4 社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	社会人の受け入れは行っているが、社会人用の学科や募集要項を整備しているわけではない。	3.5	人物像-人材像の観点では、接続性（ニーズの読み取り）は適切とは言い難いかもしれない。資格取得の点では対応している様に見受けられる（安武） ニーズが具体的に何なのかを把握したうえで対応になると思う（安部） 学び直しではないので、良くできていると考える（原） 社会人のとらえ方（坂元）
	5 卒業生への支援体制はあるか	4	校友会やFacebookページにて情報を公開するほか、卒後セミナーを実施して学び直しを支援している。2018年度より卒後の実態調査に取り組み始めている。	4	支援の目的（事業目的-社会的役割）とそのため体制づくりの最適解（バランス、実現可能性）があるか（安武）
	6 図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	図書室・PCは学生必携にて利用方法を定め、学生に周知している。また蔵書リストを作成し、必要に応じて書籍を購入している。	4	
	7 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	優秀生優遇制度による学生の顕彰のほか、学生課担当者から奨学金や教育ローンの案内について説明する場を設けている。	4	
	8 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	毎年4月に学生健康診断を実施し、必要に応じた指導を行っている。また、アレルギー等体質については入試にて確認し、必要に応じて対応をしている。	4	

9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	学生の課外活動や企業コラボレーションは、履修に支障のない範囲で紹介・支援している。	4	
10	学生の生活環境への支援は行われているか	4	通学支援制度にて遠方入学者への支援を実施するとともに、希望者には物件や不動産業者の紹介・斡旋を行っている。	4	
11	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	高校で行われる職業説明会への参加のほか、複数高校にて提携授業を実施してキャリア教育連携を図っている。	4	実績があることで評価できる（安武）

① 課題

卒業生支援としての卒業セミナーは行われており、一部卒業生以外の参加を認めているが、「社会人の学び直し」を目的とした募集は行っておらず、全学生が同条件での学習環境となっている。

② 今後の改善方策

既存学科とは別に「社会人の学び直し」を基本軸においた学科・募集活動を検討中。

③ 特記事項

就職保護者会終了後に保護者を対象とした特別講座を設定し、需要調査を実施済み。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
6 教育 環境	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	教室・備品は適切に管理され、職員間で共有されている。また、問題が生じやすい備品については管理者を設置し、使用状況の統括をしている。	4	
	2	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	4	施設・設備が安全に使用出来るように、定期的な管理点検が行われている。	4	定期的な管理が行われていることが評価項目かと思う（安武） 学生のいのちを守る視点からの管理をお願いしたい（安部） 安全上問題がない箇所と思われる（原）
	3	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4	地震を想定した避難訓練は実施されており、2016年よりシェイクアウト訓練を導入し、対応力を強化している。	4	
	4	防災に対する体制は整備されているか	3	静岡県の防災方針改定に伴い、防災マニュアルを2018年度に作成し、運用している。本部館における災害時の対応についての検討がなされていない。	3.25	
	5	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	インターンシップは第三者評価にて評価された評価表を実習先に提示した上で実習に臨み、評価を受けている。海外授業は事前研修・期間中の日誌・終了後の報告書と学生アンケート、先輩から後輩への報告会とPDCAサイクルを展開している。	4	

① 課題

2018年6月完成の本部館使用時に災害が起きた際の対応が検討されていない。

② 今後の改善方策

各種計画に基づき、本部館における災害時の対応を検討する。

③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価			
		評価	評価の理由	評価	コメント		
7	学生 の 受 入 れ 募 集	1	学生募集活動は、適正に行われているか（例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか）	4	募集要項にて入学までの流れを明示。入学願書の提出は必須とし、面接試験書類とともに学生ごとファイリングして管理している。	4	
		2	履歴書（学歴、所有資格など）を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4	入学願書に記載欄を設けている。入学願書の提出は必須とし、面接試験書類とともに学生ごとファイリングして管理している。	4	
		3	学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	募集要項・公式WEBサイトにて選抜方法、求める人材像、入学資格等記載している。	4	
		4	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	募集要項・公式WEBサイトにて学費、受験料、学習教材の購入費等記載している。	4	
		5	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	教育成果はオープンキャンパスの保護者会資料に記載の上保護者に説明している。また、学校案内、就職内定速報を毎年作成し、成果を公表している。	4	「正確な伝え方」という評価では、課題はないのではないかと。競合他校（他機関）との比較において課題はあるのか？（安武）
		6	評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4	学生必携に記載して学生に配布・周知している。	4	
		7	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4	入学選考にて履修・就職において障がいがありそうな志願者を確認し、判定会議にて共有・検証している。必要に応じて担任と情報を共有し、必要な対策を取っている。	4	
		8	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4	オープンキャンパス、入学式後の入学説明会、各種保護者会・三者面談等保護者に対して説明する機会を設け、案内している。	4	
		9	学納金は妥当なものとなっているか	4	予算・収支計画と実績を比較検討し、適切な設定を行っている。	4	
		10	志願者状況、定員充足率はどうか	3	入学予定者は昨年比9%増となっているが、定員までは届いていない。	3	充足率によって評価が定まるか（安武） 説明にあった小中学生への啓発など息の長い対策が必要か（安部）

① 課題

競合校の誕生により、入学者数確保が最大の課題である。

② 今後の改善方策

これまでの募集活動を抜本的に見直す。また、短期募集だけでなく中・長期的な視点からブランディングを検討する。

③ 特記事項

職員のブランディング力向上のセミナーを実施中。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
8 教育の 内部 質 保証 シ ス テ ム	1	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	個人情報の利用目的について明確に記載し、運用されている。	4	
	2	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	関係法令ならびに専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営がなされている。	4	
	3	文書管理規程、文書管理リスト（ファイル管理簿）ならびに決裁の流れを含む決裁規程（文書処理規程）が文書化されているか	2	機密保護管理規定としての明文化はなされているが、文書管理規定・文書管理リストが文書化されていない。	2.25	実態として問題はないが、発信規定・廃棄規定を設けるのみとらえた（安武） 1年間かけて各分掌からの文書のリスト化、管理の度合いを収集すれば、作成できるか（安部）
	4	自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	3	自己点検評価・内部監査を適切に実施し、改善すべき点を明確にしているが、すべての改善が出来ているわけではない。	3	改善計画について単年度～複数年度に関する計画を取り決める方が良いか（安武）
	5	監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	内部室保証人材養成講座修了者による内部監査を実施し、報告書を作成の上で設置者・責任者に報告している。	4	
	6	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4	適任者による内部監査を実施し、内部監査報告書にて改善点を明記している。	4	
	7	内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	3	適任者による内部監査を実施し、内部監査報告書にて改善点を明記しているが、是正処置及び予防処置規定に則った形での運営は浸透していない。	3	
	8	自己点検・評価結果を公開しているか	4	公式WEBサイトの学校情報ページに掲載している。	4	

① 課題

文書管理規定が作成中であり、是正処置及び予防処置規定は浸透不足。

② 今後の改善方策

文書管理規定策定に向け、企画課と教務部でプロジェクトチームをつくり、管理規定にて規定する文書の種類と保存期間を決める。

③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》			自己点検・自己評価		学校関係者評価	
			評価	評価の理由	評価	コメント
9 財務	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4	第三者による会計監査が適正に行われている。	4	
	2	財務情報公開の体制整備はできているか	4	財務諸表はWEBサイト上で公開している。	4	
	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	短期的には、資金面、収入支出面、銀行との信頼関係は安定している。しかし、中長期的にという観点では、財務基盤は安定しているとは断定できない。次年度からは商圏の大部分が重なる競合校が開校する。今一度、ルネサンスのブランドが何かを明確にする必要がある。また、新たな商圏の開拓、顧客層拡大、新規事業の検討などの対策をこうじる必要もある。	3.25	社会情勢～教育（専修学校）に関する傾向や分析が（評価のためには）必要か（安武）
	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	収支計画、予算の策定など有識者による助言をもとに適切に作成し、実行している。無借金経営も継続中である。	4	

① 課題

特になし。

② 今後の改善方策

特になし。

③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》			自己点検・自己評価		学校関係者評価	
			評価	評価の理由	評価	コメント
10 社会貢献・地域貢献	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	卒業生及び近隣関係者を対象としたセミナーを開催。企業コラボレーションの実施。浜松市動物愛護教育センターにてボランティア実習の実施。	4	
	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	先方からの依頼に対して都度参加を検討し、学生たちに斡旋している。	4	
	3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	近隣中学生の職場体験の受け入れや高校との提携授業を積極的に斡旋し、社会や地域に貢献する活動を実践している。	4	

① 課題

特になし。

② 今後の改善方策

特になし。

③ 特記事項

特になし。



評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》			自己点検・自己評価		学校関係者評価	
			評価	評価の理由	評価	コメント
1 1 国 際 交 流	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	—		—	
	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	—		—	
	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	—		—	
	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	海外授業にて海外の大学での研修を行い、終了証の授与を受けている。	4	

① 課題

特になし。

② 今後の改善方策

特になし。

③ 特記事項

特になし。

以上